

わたしがわたしになる学校

令和3年12月23日 発行責任者 校長 竹下 比登美



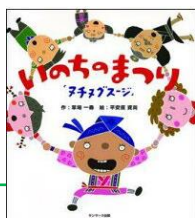
2学期終業式～いのちのはなし～

学校長が、2学期終業式に、「いのち」について話をしました。

今日は2学期締めくくりの日です。12月9日の全校朝会で、児童会執行部は「2学期の振り返り」を発表しました。一つ一つの活動や行事、府小っ子の活躍を余すところなくまとめていて府小っ子の言葉の力に感心しました。私からは2学期の締めくくりに「いのち」について話をします。

この本を読んだことがありますか。「いのちのおはなし」という本です。この中に「いのちってなんでしょ？そう、生きているということですね。では、生きているとはどういうことだと思いますか。そして、いのちはどこにあると思いますか。」という文があります。一人一人が考えてみてください。生きているとはどういうことでしょうか。そして、いのちはどこにあるのでしょうか。このお話を書いた日野原重明さんは、「いのちは時間だ」と言われています。その時間をどう過ごしていくか、それが生きることだと言っているのです。さて、あなたのいのちはどこからきましたか。「いのちのまつり」という本があります。この本には、一人一人の顔が描いてあって「いのち」となっています。この本にはこう書いてあります。「ずっとずっと宇宙の始まりから、いのちは続いてきたからね。おばあに分かるのは、数えきれないご先祖様が誰一人欠けても坊やは生まれてこなかったということさ。だから、坊やのいのちのご先祖様のいのちでもあるわけさね。」ここにもいのちは長い時間をかけて続いてきたということが書いてあります。今の二つは「いのち」ということについてのお話でした。じゃあ、そのいのちを使ってあなたはどう生きるのか。「花さき山」という本があります。読んだことがある人もいます。まだの人は「いのちの本棚」に行ってみてください。「花さき山」の中に、「辛いのを辛抱して、自分のことより人のことを思って、涙をいっぱいためて辛抱すると、その優しさと健気さがこうして花になって咲き出すのだ。」というところがあります。あなたが辛いことがあってもそれを辛抱して、自分のことよりも人のことを思って辛いことを辛抱していくと、その優しさと健気さであなたの心の中に花が咲くのだということだと思います。そうやって、自分のいのちを生きていくということなのです。そして、じゃあ、友達にはどうなのか。「わたしと小鳥とすずと」という金子みすゞさんの詩集があります。これも「いのちの本棚」にあります。みんなが知っている有名な詩です。

『わたしと小鳥とすずと』 私が両手をひろげても、お空はちっとも飛べないが、飛べる小鳥は私のように、地面を速くは走れない。私がからだをゆすっても、きれいな音は出ないけど、あの鳴る鈴は私のように、たくさんな唄は知らないよ。鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい。」誰にでも欠点はあります。ですが、その反対に誰にでもいいところがあります。そのいいところを見つけて、友達と付き合っていくということです。この2学期、友達のいいところをどれくらい発見しましたか。そして、これからのみんなに生き方として考えてほしいこと。「それしかないわけないでしょう」ヨシタケシンスケさんの本です。とても人気の本だから皆さん読んでいると思いますが、この中におばあちゃんとのやり取りが出てきます。「おばあちゃん、私はね、大人になったら未来を考えるお仕事をするわ。」おばあちゃんは病気で寝ていたんですね。「あらステキ、いいわね。でもその頃にはもうおばあちゃんは天国にいっちゃってるかな。」「ちょっと、おばあちゃん、それしかないわけないでしょう。明日突然すごい元気になって世界旅行に出かけちゃうかもしれないし、たとえ天国に行っちゃっても、次の日にはなぜかクマのぬいぐるみになって帰っているかも知れないし。」と女の子は言っています。そういう考え方をすること、とても大切だと思います。例えば、卵が出てくる場面があるんです。「お母さん、今日の晩御飯なあに？」「今日は、昨日の残り物いろいろ、あ、卵があるけど卵焼きとゆで卵とどっちがいい？」「ちょっとお母さん、それしかないわけないでしょう。もっといろいろあるでしょう。目玉焼き、ゆで卵、オムレツ、卵焼き、いり卵。」こんな風に、これから生きていくみんなには「これしかない」という考え方ではなく、「これもある、あれもある、それもある」という風に自分の頭を柔らかくして、たくさんのアイディアを思いつく、そういう生き方をしてほしいと思います。そして、明日からお休みに入ります。夏休みもそうですが、長いお休みに入る時、先生がいつも思うのは、決していのちを失うことをしてほしいくないということです。今朝、学校に来るときに、ちょうど登校するみんなの姿を見ました。兄弟で一列になって歩いていました。横断歩道を渡る時にも右左を確認して歩いていました。「大きい車どけてちょうだい」という本があります。小さな子供にとって車は凶器になります。「交通事故で小さな兄弟を失った、だから大きい車、どけてちょうだい」そうお兄ちゃんが思ったという本があります。交通事故に遭うことがないように、そして、自分の不注意や自分の思い込みから自分のいのちを失うことがないように、この休みを過ごしてください。そして、また1月には府小っ子の元気な声と元気な顔に会いたいと思います。



児童代表の言葉～できることをもっと増やしたい～

『がんばったよ、2学期』

2年 松田 康佑

2年生の学年目標は、「スイミーのなかま ちえと やさしさと ねばりつよさを大切に みんなですすもう」です。2学期も、みんなといっしょに、たくさんのごんごんしました。その中でも特にがんばったことが3つあります。

1つ目は、逆上がりです。最初はできなかったけど、うでに力を入れること、勢いをつけて足を上げることを意識して、たくさん練習すると、できるようになりました。できた時は、すごくうれしい気持ちになりました。2つ目は、生活科の「やさしさいっぱいばいばい会」です。本番、お家の人がたくさんいて、緊張したけど、はつきり大きな声で言えました。ちょっと反省点もあったけど、お母さんが、「すごかったね。」と、ほめてくれたので、すごくうれしかったです。ぼくは、聞きやすいように、はっきり伝える練習をたくさんしたので、じょうずに言えました。友だちの発表を、みんなが応援しながら聞いたことも、よかったと思います。3つ目は、無言掃除です。前は、ときどきしゃべってしまっていたので、静かに掃除をすることをすごく意識していた時がありました。その時は、「しゃべりたいけど、がまんしなくちゃ。じゃないと、無言掃除じゃないから。」と、心の中で言いました。今では、無言掃除が身について、自然にできるようになったし、まわりの友だちも、集中して掃除ができるようになっています。

ぼくは、2学期を振り返って、あきらめずに練習することは大切なんだなと思いました。わけは、逆上がりも、発表会も、無言掃除も、かけ算九九も、ぜんぶあきらめずにがんばったら、できるようになったからです。3学期も、何事にもねばり強く取り組み、友だちと一緒に進んでいきたいです。

あなたの言葉や行動は大丈夫？

学校長が、オンライン朝会で、「自分に恥ずかしくない自分になるための賢い判断」について話をしました。

あなたの言葉や行動は大丈夫？例えば、こんなことしてないかな？

当たらないように石を投げつけたり、水をかけたりする。そこで、「こども六法」を見てみ

ましょう。こんなことをしたら、ケガをさせなくても暴行になるよ。「刑法第208条 暴行」

当たらないように石を投げたり水をかけたりしても暴行です。気軽に「死ね」「うざい」「キ

モい」と言ったり書いたりしていない？その一言が罪になります。「刑法第202条 自殺関

与及び同意殺人」人に死ぬことを命令することになるのです。気軽に「死ね」と言わないで

ください。「刑法第231条 侮辱」人をばかにしたり悪口を言ったりすることも罪になりま

す。服を脱がしたり、見せろと言ったりしていない？あるいは、下着を見せたり、エッチな

落書きをしたりしていない？これは、「刑法第176条 強制わいせつ」むりやりエッチなこ

とをするのは絶対にダメ！「刑法第174条 公然わいせつ」みんなの前でわいせつな行為（みだらでいや

らしい行為、人の見たくないものを見せびらかす行為）をすることになります。今までわざと、もしくは不

注意で人の物を壊したことはない？他人の悪口を行ったり噂話を流したりしたことはない？これは「民法7

09条 不法行為による損害賠償」他人の物を壊したら弁償しないといけません。他人の悪口や噂話を流す

ことも罪になります。自分のしたことをごまかそうとしたり、知らないふりをしたりしたことはない？例え

ば、二人で悪いことをしても責任は半分にはならないよ。これは、「刑法第60条 共同正犯」二人以上で

一緒に悪いことをしたとき、全員同様に扱います。「誰かが一番にやった、ぼくは見ていただけ」こういう

ことは通用しません。

では、少年法というのがあるのですが、この少年法は何のためにあるか一緒に考えてみましょう。「子供

には罰だけでなく教育が与えられる」「子供だからといって謝るだけでは許されない」「子供にはやり直すた

めのチャンスが与えられる」こういう意味で少年法があります。「少年法があるから罰せられないよ」とい

うことはないんですよ。でも、子供だから失敗はつきものです。大人でも失敗します。生きていくうえで失

敗は宝物なんです。でも、してはいけない失敗があります。人を傷つける失敗はできるだけしてほしくない

し、その失敗は宝物にはなりません。

学校は賢い人になるために来ています。賢い判断ができる人になりましょう。心を磨くのはもちろんです

が、法律の知識をインプットしていると、自分の言葉や行動を変えることができます。いつも言うようにイン

プットでアウトプットが変わります。それから、もう一つ、アウトプットについてです。「笑い」という

のはアウトプットですね。自分の「笑い」の質を問い直してみましょう。誰かが何か失敗した、そんな時に、

へらへら、グラグラ、どっと笑っているのは、これはいじめの原因になります。いじめというのは笑いから

始まるんです。心の鏡に映ったその自分の笑いの質を問い直してみてください。安心できる笑いかな？誰も

が喜べる笑いかな？感動の笑いかな？こんな笑いだったら、とっても心が豊かになります。そして、周りも

とっても幸せな気持ちになります。忘れないでください。自分の言葉を近くで聴いているのは自分です。忘

れないでください。自分の行動を一番見ているのは自分です。自分にはずかしくない自分になる、そのため

には、言葉！行動！今日の言葉は自分にはずかしくないかな？今日の行動は自分には

ずかしくないかな？そうやって、自分を高めていきましょう。



私は、校長先生のお話を聞いて、自分の行動が人を傷つけたりしていないかよく考えて行動したいと思います。皆さんも、自分が人を傷つけたりしていないか考えて行動しましょう。

家庭でも根っこ育て～自分でけがを予防しよう～

11月の約2週間の府中小児童のけがについて養護教諭に調べてもらいました。最近児童が一人で何かにぶつかったり、こけたりするけがが相次いでいたからです。結果は168件中41件、4件に1件は自分で気を付けることができたけがです。自分の体がどれぐらいの大きさかという感覚機能を備えて分でぶつからないように頭を低くしてくぐったり、手足をうまく動かすことができず、自分の体が危ないといったときに手や足が出ないことが原因の一つと考えられています。寒くなりましたが、体育や外遊びの中で、多様な動きの運動や遊びを経験して調整能力を養ったり、感覚機能を鍛えたりすることがけがの予防につながります。

府小っ子2学期の振り返り～児童の言葉で～

12月9日のオンライン全校朝会で、児童会執行部の子供たちが、自分たちの言葉とスライド写真を使って2学期を振り返りました。このスライドは、12月11日（土）の個人懇談会の際、「いのちの本棚」で保護者の方にも見ていただきました。見ていただいた保護者の方から「子供たちが自分の言葉で発表していてすごいと思います。普段見ることができない学校の様子がよく分かりました。」という言葉をしていただきました。

12月に入り、2学期もあと2週間となりました。皆さんは、この2学期どのようなことをがんばりましたか。自分が成長したところはどこですか。この2学期は今までの行事と形は変わっていますが、学習発表会、野外活動、修学旅行、またそれぞれの授業でコロナ禍でできることを、実施することができました。今日は2学期の主な行事について振り返ります。皆さんも、自分の成長やこれからもっとがんばりたいことを考えていきましょう。

まず、11月に学習発表会をしましたね。1年生は生活科「いきものとなかよし」の時間に、身の回りにいる虫を探しに行き、アリやダンゴムシ、バッタなどを見つけました。カマキリやキリギリスなど他の虫についても図鑑や本で調べたりしました。たくさん虫が住んでいるところや、虫の住みやすい場所ってどんなところだろう…と考えていくと、いろいろなことが分かり、分かったことをクイズにして発表しました。2年生は生活科「みんなでつかう町のしせつ、ときどきわくわく町たんけん」の学習で、町立図書館について調べました。施設の中や外の様子について、利用する人にやさしい工夫をたくさん見付けました。また、そこで働いている人の思いについても知ることができました。さらに、町たんけんを通して、自分たちの住んでいる町の中にも人にやさしい工夫があることを知り、みんなに伝えたいと考えました。SDGsの視点から、調べたことをまとめて発表することができました。3年生は3年生からはじまった総合的な学習の時間に、自分たちが暮らす府中町の素敵なおとこについて調べました。住みごちランキング3年連続No.1になっている府中町には、どんなステキがあるのだろうと、自分たちで考え、アンケートを行いました。それをもとにしながら、グループに分かれて調べたり考えたりしました。発表内容をまとめるのは大変だったけれど、がんばりました。府中町のステキがずっと続いていくようにという思いを込めて発表しました。4年生は社会科「水はどこから」の学習で、自分たちの生活が環境と深く結びついていることに気付いた4年生は、洗剤不必要で環境に良いと使われてきたアクリルたわしを自分たちで作って、それを使って効果を調べました。そしてそこから感じた疑問を探究し、各自が色々な方法で調べたり試したりしました。各々が集めた情報をグループで整理し、SDGsの視点から考えたことを話し合い、まとめたことを発表しました。

続いて学年行事です。5年生は、10月下旬に野外活動に行きました。飯盒炊飯やアスレチック体験をしました。1泊2日の中で、学校外の方と接することで礼儀や感謝の気持ちの伝え方が分かりました。また一人一人役割をもつことで、一つ一つの行動に責任感をもち活動することができました。そして、何よりみんなと協力する力がつき、友達との関係もよくなりました。野外活動で身に付けた力を生かしながら、これからも生活していきたいです。

続いて、クラブ・委員会です。今年度はクラブを実施することができて、とてもうれしかったです。委員会は、コロナの中で府小っ子が楽しめたり、学んだりとさらによくなるような活動を各委員会が考え実行しています。この活動を実施して力を高めることができたなら、ぐんぐんカードをもらうことができるのも励みになりましたね。私たち児童会は主に、全校朝会の司会をしました。全校朝会の話聞いてその場で感想を言うのは難しく緊張もしますが、その分人の話を聞いてまとめる力をつけることができました。これからも児童会執行部として、府中小学校がよりよくなるよう考えて行動していきます。

次に授業についてです。6年生の外国語ではSDGsの視点から考えたお好み焼きを考え、スライドを使って発表しました。自分たちで好きな食材を選んだり、日本の食材を選んだりなどユニークなお好み焼きがたくさんできました。アピール文も全て英語で発表し、難しい単語もありましたが、最後まで自分の考えを発表することができました。この学習から世界で捨てられる食材の量を聞いて、食品ロスの恐ろしさを知り、SDGsに取り組むことが大切であると分かりました。そして、ブックトークも取り組みましたね。自分のおススメの本を紹介しました。自分の好きな本はもちろん友達のおススメの本も知ることができ、本への親しみが広がりました。たくさん本を読むことで自分の語彙力や想像力が高まったと思います。これからもいろいろな本を読んで自分の心を豊かにしていきましょう。

そして最後に6年生が10月に行った修学旅行です。コロナの影響で行けるかどうか不安だったけど、予定通り熊本に行くことができました。1日目は熊本城、阿蘇山博物館。熊本が熊本地震から復興する姿をこの目で見るすることができました。また阿蘇山では、広い大地を思いっきり走りとても気持ちよかったです。ホテルや2日目のグリーンランドでは、班のみんなで協力し、誰もがお互いの気持ちを考え、みんながちょっぴり我慢することで、全員がしっかり楽しむことができました。普段の学校生活では見ることのできない友達のよい一面も知ることができました。修学旅行に行けて本当に楽しかったです。この感謝の気持ちを忘れずこれからも生活していきたいです。

このように2学期いろいろなことがありましたね。でも、とても充実していたのではないのでしょうか。2学期でつけた力を3学期につなげていきましょう。そして3学期、私たち児童会は「府小っ子スマイルプロジェクト」を計画しています。クラスみんなで知恵をしぼりクイズに取り組みます。また3学期に提案します。楽しみにしてください。それでは、残り2週間も元気に過ごすことができるよう、手洗い、マスク着用をし、一人一人が周りの人を思いやる行動をしていきましょう。

これで児童会執行部からの話を終わります。



オンラインビブリオバトル～チャンプ本決定！～

12月17日（金）に「府小っ子ブックフェス」の一環で、「読書」と「アウトプット」をつなげる「ビブリオバトル大会」をオンラインで開催しました。当日は、学級の代表がそれぞれおすすめの本について語り、ペア学年が読みたいと思った本に投票してチャンプ本を決定していきました。他の学級や学年の代表の人がどのようなアウトプットで本のよさを伝えているのか、興味津々、身を乗り出して一生懸命画面を見つめる児童がたくさんいました。そして・・・12月21日、投票結果を読書活動委員が放送で知らせると、子供たちの歓声が学校中に響き渡りました。

府小っ子の皆さん、こんにちは。読書活動委員会です。今日は、先週行った「府小っ子ビブリオバトル大会」の投票結果についてお知らせします。まずは、1年生の学年チャンプ本は、3組が紹介した「進化の迷路」でした。続いて2年生のチャンプ本は、4組が紹介した「ぼくのがっこう」でした。3年生の学年チャンプ本は、1組と4組が紹介した「五秒後に意外な結末」でした。1組と4組は同じ本の紹介で同じ投票数でした。4年生の学年チャンプ本は4組が紹介した「どっちが強い！？フクロウVSヤマアラシ」でした。5年生のチャンプ本は2組が紹介した「ハードル」でした。6年生のチャンプ本は3組が紹介した「五分後に意外な結末ベストセクション」でした。ビブリオバトル大会を通して、学級や他の学級の代表の人が紹介した本を読んでみたくなりました。その人が紹介した本に似た本があれば、その本も読んでみたくなりました。また、人が読みたくなくなるような表現の工夫がたくさんあって、自分がまたビブリオバトルをする時や発表などに生かしたいと思いました。皆さんも、今回のビブリオバトルで紹介された本をぜひ読んでみてください。そして、これからも読書で言葉の力を高め、自分の生き方を広げていきましょう。



ことばの力を発揮して続々と受賞！府小っ子の活躍

児童がことばの力と感性を発揮して作品を応募した中から嬉しい受賞がありましたので紹介します。受賞した児童には、学校長から表彰状等を手渡しています。また、校外で表彰された児童は学校長へ報告に来ます。写真は、これまで表彰された児童の笑顔あふれる様子です。

第25回ちゅうでんリサイクル工作コンクール受賞者
佳作 4年 山内 結月「森のレストラン」

第46回「ごはん・お米とわたし」図画広島県コンクール
特選 6年 三芳 一起 入賞 6年 西本 麻桜

第70回交通安全ポスター・作文コンクール
佳作 4年 東矢 彩未



これからも
府小っ子は
たくさん
チャレンジ
していきます！

夢あふれる学校図書館見学会

12月14日（火）、県内各地から府中小学校の「学校まるごと図書館」とその取組を参考にしたいと見学に来られました。

「子供が本を読まない国に未来はない！読書は全ての学習の基本、読書を通して人生の生き方を学ぶ」学校長が、平成30年度、子供たちの根っこを育てるために「本好きな子供を育てる」ことから始めようとした思いを参加者に語りました。また、府中小学校の取組、図書ボランティアの方々の活動などを読書活動担当がスライドを使って説明、発信することができました。



参加された方々からの嬉しい声がありましたので紹介します。

学校全体が図書館と言われていた通り、児童がどこにいても本に親しむ環境があることの大切さと、学校だけでなく、地域・ボランティアの方々の協力や理解も子供たちの本に対する気持ちに大きく影響するのだということを学びました。

校長先生の学校経営への思いが、教職員はもちろん、保護者・地域の人たちに広く浸透し、学校経営マネジメントが構築されているところがすばらしかったです。驚きと感動の連続でした。

今日学ばせていただいたことを私の学校でも実行できるように頑張りたいと思います。ありがとうございました。

文部科学省子供の読書活動推進事業第2回会議

12月20日（月）、「新しい生活様式」を踏まえた読書活動のモデルの構築に向けて、読書活動推進の取組をよりよいものにするために企画運営委員会を開催しました。府中小学校の取組について説明した後、委員の皆様からご意見をいただきました。その中の一部を紹介します。

- 「府中小学校の取組」だけど、地域の方に見てもらったら地域の方にも読書の楽しみが伝わるのではないかと思います、感動しながら聞いていました。
- 親子読書の取組では、お家の方にも同じように本を読んでもらうとか、親子で感想を言い合うというのがすごくいいことだと思います。子供だけが勝手に本を読んでいるんじゃない、家庭も巻き込んでいくというのが本当に素晴らしい！
- 学校でじっくり本を読む環境づくりができていることに感謝しています。家でも環境づくりを頑張ります。
- 図書ボランティアだけでなく、子供たちの方が盛り上がってくれるのが本当は一番いい状態だと思うので、図書コーナーに夏休み明けに来て、手書きのポスターやポップがあって、とてもうれしかったです。興味深く見させてもらったし、参考にさせてもらいたいと思いました。
- 子供が本を好きになることがゴールではなく、本を好きになって知的好奇心を掻き立てられたり、心が豊かになってより良い成長をしたりしていくのがゴール。そこがゴールということであるいろいろな活動をしているのが皆さんの話を聞いていてとてもよく伝わってきました。この分散型「学校まるごと図書館構想」は、全国のモデルとなる取組だと思います。



これからも、子供たちがワクワクする「新しい生活様式」を踏まえた読書活動を行っていきます。

令和3年度「いじめ防止のための標語」表彰

児童が「いじめ」について考える機会とし、いじめ防止を推進する「いじめ防止のための標語」づくりを行い、各賞を表彰しました。「いじめ」を自分たちの問題として捉え、「いじめは絶対許さない」という意識が伝わってくる学年賞5点、学校賞1点、保護者学校賞1点を紹介します。

保護者学校賞

いじめの「い」は、いけないことの「い」！
いじめの「じ」は、自分に返るの「じ」！
いじめの「め」は、誰かが必ず見るの「め」！
保護者 池岡 ゆかり

いじわるをしない

そうしたらここにこのくらす

一年 小林 優希

学校中 えがおいっぱい なってほしい

二年 吉良 陽菜乃

友だちを きずつけて 何が楽しいの

三年 竹内 唯斗

声をかけ あの子の心 守ろうよ

四年 平澤 杏菜

学校賞

ありがとう いっぱい言って 笑顔の輪

五年 新迫 潤

自分から 心のブレーキ かけようよ

六年 小原 千春

人権の花贈呈式～友だちのように育てよう～

11月12日（金）、第3学年児童が人権の花贈呈式でヒヤシンスの球根をいただきました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインで行いました。人権擁護委員の小濱樹子さんから「ヒヤシンスを大切に育てて、友だちとなかよくしてください。人権紙芝居を通して人権という言葉の意味を考えてみてください。」という言葉いただき、紙芝居「白い魚とサメの子」を各教室の電子黒板で鑑賞しました。いただいた球根を友だちのように大切に育て、府中小の誰もが優しい気持ちで安心して学校生活が送れる学校であり続けるよう、お互いを大切にしていきたいと思います。

自分らしさをこれからも大切にしていきたいなと思いました。

私は、自分も大切にし、人（心）も大事にすると自分も大事にされることが学習して分かりました。



人権は人のことを思っていじめをやらないことで、三方よしとにしていると思いました。

人権を大切にするには、自分の良さを見つけて大切にすることが大事だと分かりました。

人権は思いやり、人のことを考えるということを知りました。紙芝居を見て、白い魚の子はうれしそうでよかったなと思いました。

第2回おそうじ班活動！ありがとうございました

PTA会員全員がメンバーとして地域ごとに活動していただいているおそうじ班活動。12月9日に行われた今年度2回目は、のべ81人の保護者の皆さんが参加してくださいました。寒い季節になってもたくさんの保護者の方にご参加いただき、トイレの便器や床、手洗い場、中庭の壁や窓など隅々まで磨いていただきました。本当にありがとうございました。



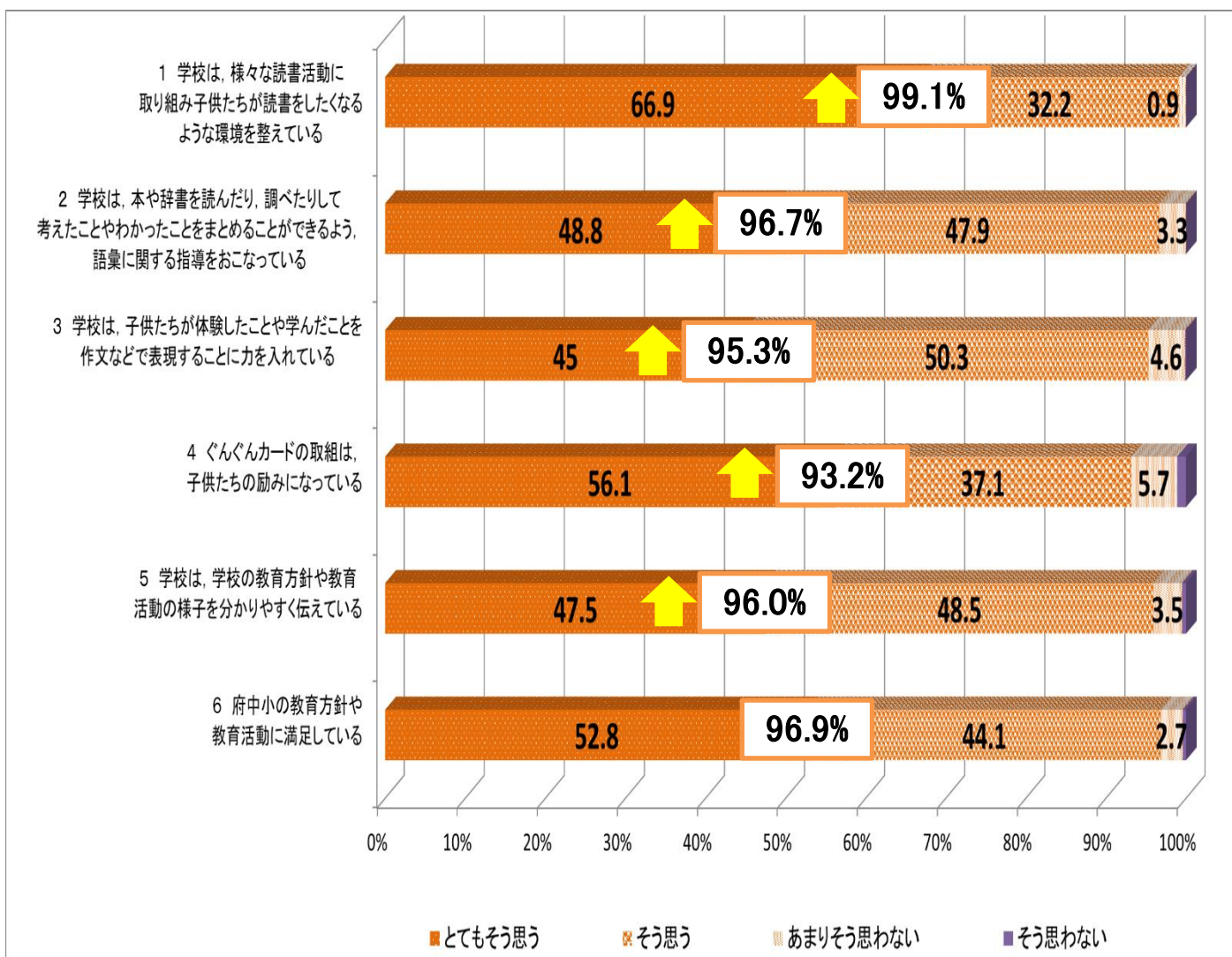
普段行き届かないところを丁寧に！

子供たちと一緒にお手本となって！

次回のおそうじ班活動は、1月21日です。B・Dグループの皆様、よろしくお願いします。

学校の取組に対する評価アンケート結果について

12月11日（土）は2学期の学習や生活の様子をお伝えする保護者懇談会でした。その際、ご協力いただいた学校評価アンケートの結果についてお知らせします。



学校評価の全ての項目について90%以上の高い肯定的評価をいただきました。項目1～5までの肯定的評価が1学期を上回り、また、全ての項目の「とてもそう思う」の割合が増加しました。特に「読書活動」に関わる項目1で+5.5%、「語彙力の向上」に関わる項目2で+3.0%、作文等の「表現力」に関わる項目3で+5.0%、「満足度」に関わる項目6で+3.1%、他2つの項目についても「とてもそう思う」の割合が増加し、府中小学校の目指す「根っこ育て」への理解がさらに高まっていることを感じています。項目4「ぐんぐんカード」の取組に関しては、嬉しい児童の姿があったのでお伝えします。ある朝、児童が2人足早に登校してきたので、「今日は、何か学級で楽しいことがあるのかな？」と尋ねると、「今日は、ぐんぐんカードをもらえる日だから急いで学校に来たんだよ。挨拶も大きな声でがんばったし、無言掃除もがんばったから、今日きっともらえると思う。ぐんぐんバッチまでぼくはあと1枚。わたしは2枚。」こう答えた2人の姿は自信に満ち溢れていました。このようにぐんぐんカードをきっかけとして自分の目標に向けて、粘り強く努力することで自信につながっていくよう取組を進めていきます。項目5・項目6に関しては、保護者の方から「いつも校長先生のことばに学んでいます。子供も校長先生のお話を聞いてキーワードなどをメモして教えてくれます。校長先生のお話は『自分のいいところ』とか、心や気持ち、いのちのことなど心に沁みるいいお話ばかりです。親子で『そう考えればいいのか』とか話して大人も子供もとても勉強になります。ありがとうございます。これからも楽しみにしています。」という言葉をいただきました。コロナウイルス感染症対策を行いながら、子供たちの姿や取組を様々な形で発信し、分散して来校していただくことで子供たちの力が高まっていることを間近に感じてくださった結果だと捉えています。

この結果を受けて、さらに保護者や地域の皆様に信頼されるよう全教職員で教育の質の向上を目指し、取り組んでいきます。学校評価アンケートへご協力いただき、ありがとうございました。

1月の行事予定・下校時刻予定表

府 中 小 学 校
校 長 竹 下 比 登 美

日	曜	行事予定	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	土	元日						
2	日							
3	月							
4	火							
5	水							
6	木	冬季休業終						
7	金	始業式 給食開始 全校14:50下校 ALT	14:50	14:50	14:50	<u>14:50</u>	<u>14:50</u>	<u>14:50</u>
8	土							
9	日	消防出初式						
10	月	成人の日 とんど祭り(11時30分～神事, 12時～点火)						
11	火	委員会活動 身体測定1年 ALT 諸費振替日 町SC(AM) ベルマーク・インカートリッジ回収(14日まで)	<u>14:10</u>	<u>14:10</u>	<u>15:00</u>	<u>15:00</u>	15:40	15:40
12	水	身体測定2年	14:50	14:50	14:50	14:50	14:50	14:50
13	木	身体測定3年 空気検査(14:00～)	14:50	14:50	15:40	15:40	15:40	15:40
14	金	身体測定4年 読み聞かせ1・2年 ALT 13:10下校(5-3は14:30下校)	<u>13:10</u>	<u>13:10</u>	<u>13:10</u>	<u>13:10</u>	<u>13:10</u> 5-3は14:30	<u>13:10</u>
15	土							
16	日	とんど祭り予備日						
17	月	さわやかあいさつ運動 よみきかセンセイ 身体測定5年 ALT	14:50	14:50	15:40	15:40	15:40	15:40
18	火	身体測定6年 諸費再振替日 SSW	14:50	15:40	15:40	15:40	15:40	15:40
19	水	入学説明会(14:00～15:00) 身体測定特支	<u>13:15</u>	<u>13:15</u>	<u>13:15</u>	14:50	14:50	14:50
20	木		14:50	14:50	15:40	15:40	15:40	15:40
21	金	お掃除班活動・授業参観(本町1・5丁目 大須) ALT	14:50	14:50	14:50	15:40	15:40	15:40
22	土							
23	日							
24	月	ALT	14:50	14:50	15:40	15:40	15:40	15:40
25	火	ブックトークタイム SSW	14:50	15:40	15:40	15:40	15:40	15:40
26	水	特支アドバイザー来校	14:50	14:50	14:50	14:50	14:50	14:50
27	木	SC(9:15～15:00)	14:50	14:50	15:40	15:40	15:40	15:40
28	金	クラブ活動 ALT	<u>14:40</u>	<u>14:40</u>	<u>14:40</u>	15:40	15:40	15:40
29	土							
30	日							
31	月	ALT	14:50	14:50	15:40	15:40	15:40	15:40

※ 下校時刻は、学校出発時刻です。行事等で多少、下校時刻が異なることもあります。
 下校時刻が大幅に変更になった場合は、緊急メールやあらかじめ通信等でお知らせいたします。
 ※ 行事の関係でこれより遅くなることがあります。